

会 議 録

会 議	平成27年度 第5回 尾花沢市庁舎建設検討委員会
会議日時	平成27年11月26日(木) 午後6時30分～午後9時00分
会議場所	尾花沢市学習情報センター「悠美館」2階ハイビジョンホール
出欠委員 及びアドバイザー	出席委員 11名 欠席委員 2名 アドバイザー 2名
事務局	尾花沢市役所 財政課職員 4名

会 議 概 要

(1) 建物の配置、階構成とゾーニングについて

① ゾーニング段階における主要な課題について

○事務局

ゾーニング段階における主要な課題について資料により説明。

○委員

教育委員会部門の分庁舎配置など、新庁舎の規模を縮小する案であるが、事業費でどの程度抑制されるのか。

○事務局

概算事業費については現在積算中であり、今後示していきたい。

○委員

教育委員会部門の配置について、「当面、分庁舎として配置」とあるが、「当面」という意味合いを伺いたい。

○事務局

今後、職員数が減少していくことが見込まれ、将来的には、新庁舎への配置も含め、改めて分庁舎のあり方を整理する必要があるかと考えている。

○委員

庁舎規模をコンパクトにしているが、将来的に教育委員会部門を新庁舎へ配置することは可能なのか。

○事務局

新庁舎における部署配置については現行の組織体制をベースにしている。将来的に職員数が減少していけば組織体制を見直す必要が出てくる。そうした場合、教育委員会部門を配置するスペースを確保できるものと考えているが、そのためには、部署の統廃合に柔軟に対応できる空間計画が前提となる。新庁舎は鉄骨造により間仕切りを少なくし、部署の統廃合に柔軟に対応できるよう設計している。

○委員長

教育委員会部門の配置については、提案のあったとおり分庁舎配置ということで進めていきたいと思う。

② ゾーニング修正案について

○事務局

ゾーニング修正案について資料により説明。

○委員

3階の防災研修室の活用方法について伺いたい。

○事務局

防災研修室については、自主防災組織等の研修や講習会等で利用していきたいと考えている。また、災害時には一時避難スペースとして利用する計画で、防災資機材や備蓄物資を保管する防災倉庫を併設している。加えて、休日・夜間については生涯学習などの催しで利用できるよう市民団体等へ一般開放する計画である。

○委員

3階の議員控室が4部屋配置になっているが、そんなに必要なのか。

○事務局

会派ごとに分けており、4部屋必要になる。

○委員

スペースが広すぎないか。

○事務局

議員控室については、まだ、たたき台の段階であり今後精査していく。

○委員

議員控室を含め、議会機能については議会と意見交換して整理していってもらいたい。その過程では、これまで出された市民の意見を含めて検討していかなければならないと思う。

○委員

バス停のあり方についてであるが、将来的にどう位置付けていくのか伺いたい。現在の利用状況は、市民バスの発着所として市民利用がメインであるが、交流人口の拡大の観点から観光対策を講じていく予定はあるか。

○事務局

観光者を見据えたバス停という想定はしていない。市民利用を前提としている。パレットスクエア内に観光物産協会が配置されており、観光者の利便性を考えると、そちらの方が使い勝手が良いかと思う。

○委員

機械・貯雪棟についてであるが、市道を挟んで庁舎の真向かいにあり圧迫感が感じられるがいかがか。

○設計事務所

貯雪作業を考慮すると建高8m程度になるかと思う。地下に貯雪する方法もあるが、建築コストが増嵩する。建屋の形状については検討していきたいが、建高を低くするというのは現実的に難しい。

○委員

建屋自体を県道側に平行に配置するというのはどうか。

○事務局

機械・貯雪棟の配置については、来庁者の動線や除雪計画なども含めて設計事務所と精査していきたい。

○委員

前回のゾーニング資料では、塔屋部分に機械室、電気室、自家発電室を配置していたが、これらは機械棟に集約したのか。

○設計事務所

委員ご指摘のとおり機械棟に集約している。維持管理や建築コストの抑制の観点から計画を変更したところである。

○委員

休日のバス利用者の待合スペースはどうなるのか。

○事務局

庁舎のセキュリティを考慮すると、休日も開放することは想定していない。

○委員

休日に市役所を発着地点として利用する方はそんなにいないのではないか。

○委員

車を利用できない市民の方もいる。そうした方が休日もバスを利用するのではないか。

○事務局

バス停のあり方については、市民ワークショップでもご意見をいただいている。現行の案では、メインエントランス側にバス停を配置しているが、サブエントランス側に配置する案もある。委員の皆様よりご意見を頂戴したい。

○委員

メインエントランス側でいいかと思う。それよりもタクシー乗り場を確保した方がいいのではないか。

○委員

メインエントランス側でいいかと思う。総合窓口付近にパイプシャッターを付ければセキュリティとして区分けできるのではないか。

○委員長

バス停の配置については、メインエントランス側でよろしいかと思う。休日の利用方法については今後の課題として事務局で整理してもらいたい。

○委員

市民ワークショップでは、コーヒーショップ的な市民が集えるスペースを設けてもらいたいとの要望がある。そのような環境を確保してもらいたい。

○事務局

そのように努めてまいりたい。

○委員

計画している貯雪量でどの程度冷房に利用する計画なのか伺いたい。また、木質ペレットのサイロであるが、ペレットの補充頻度を伺いたい。

○事務局

雪冷房については、事業費抑制の観点から当初計画よりも規模を縮小している。市民ホールや一時避難スペースなど市民が多く利用するスペースを中心に利用していきたいと考えている。

○設計事務所

木質ペレットについては、冬期間の暖房に利用する計画であるが、サイロへの補充頻度としては2週間に1回程度になろうかと思う。

○委員

貯雪室の雪についてであるが、冷房に活用するだけでなく夏場に雪を使ったイベントなどへの利用も検討してはどうか。

○事務局

市民ワークショップの中でも雪国という暗いイメージを払拭するようなPRを新庁舎で取り組んでどうかとの意見があった。ソフト面にも関係する部分であるが、雪を有効活用できるよう検討していきたい。

○委員

市民開放エリアについてであるが、3階に喫煙室を配置してはどうか。

○事務局

どこに配置するかも含め精査していく。

(2) 外観及び内観デザイン案について

○設計事務所

外観及び内観デザイン案について資料により説明。

○委員

市民ホールのイメージ図を拝見しているが、窓口のワンストップ化が図られるか。

○事務局

市民ホールのメインエントランス側に総合窓口を配置し、足の不自由な方や複数の部署に跨るような申請手続きの際は、来庁者を歩かせずにこちらで受付するような対応を考えていきたい。

○委員

北側と南側で自然光の入り方が違うかと思う。どう考えているのか。

○事務局

ブラインドなどで調整するような形になる。

○委員

柱の数はどの程度想定しているのか。

○設計事務所

当初よりも柱間のスパンを伸ばして7.5mほどの配置を考えており、立面計画でお示ししているような本数を考えている。

○アドバイザー

塔屋の高さが4mあるが、こんなに必要なのか。

○設計事務所

塔屋の高さについては暫定値である。もう少し低くなるかと思う。

(3) 総括

○アドバイザー

市民や職員の意見というのは、現状の課題を踏まえた意見に偏ってしまいがちである。将来的なビジョンを明確にして、その方針に沿って具体的な中身は設計事務所が考えるように進めていかないと収集がつかないかと思う。

また、1階の平面計画についてであるが、市民ワークショップでも意見が出されていたが、メインエントランス側にバス待合と総合窓口、相談室があって混み合っている。この点は改善する余地があるかと思う。設計事務所で十分検討してもらいたい。

○アドバイザー

市民開放エリアについては動線が分かりやすくなって良かったかと思う。ただ、機械棟の配置についてであるが、庁舎の佇まいを考えるとどうなのかなと思う。

また、市民ワークショップでも意見が出されているが、ゆとりのある環境や集える環境など、市民がリラックスできるスペースも求められている。そうした点も設計に反映させていってもらいたい。

以 上